

新型コロナウイルス感染症の 振り返りについて



健康づくり課 疾病対策担当



新型コロナウイルス感染症の概要

- 令和元(2019)年12月、中国湖北省武漢市において、原因不明の肺炎患者が複数報告され、後に新型コロナウイルスによる新型コロナウイルス感染症(Covid-19)とされた。
- このウイルスは瞬く間に世界中に拡がり、令和2(2020)年1月16日に国内1例目の患者が報告された。(武漢からの帰国者)
- 宮崎県では同年3月4日に県内1例目が報告された。
- 小林保健所管内では、同年8月6日に管内1例目、11月21日に2例目、12月4日に3例目が報告された。



管内の感染者の推移

(管内の新規感染者発生から令和5年5月7日まで1,005日間)



新規感染者 (最大) 293 人

オミクロン株 (BA.5) 系統への置き換わり

オミクロン株 (BA.1、BA.2) 系統への置き換わり

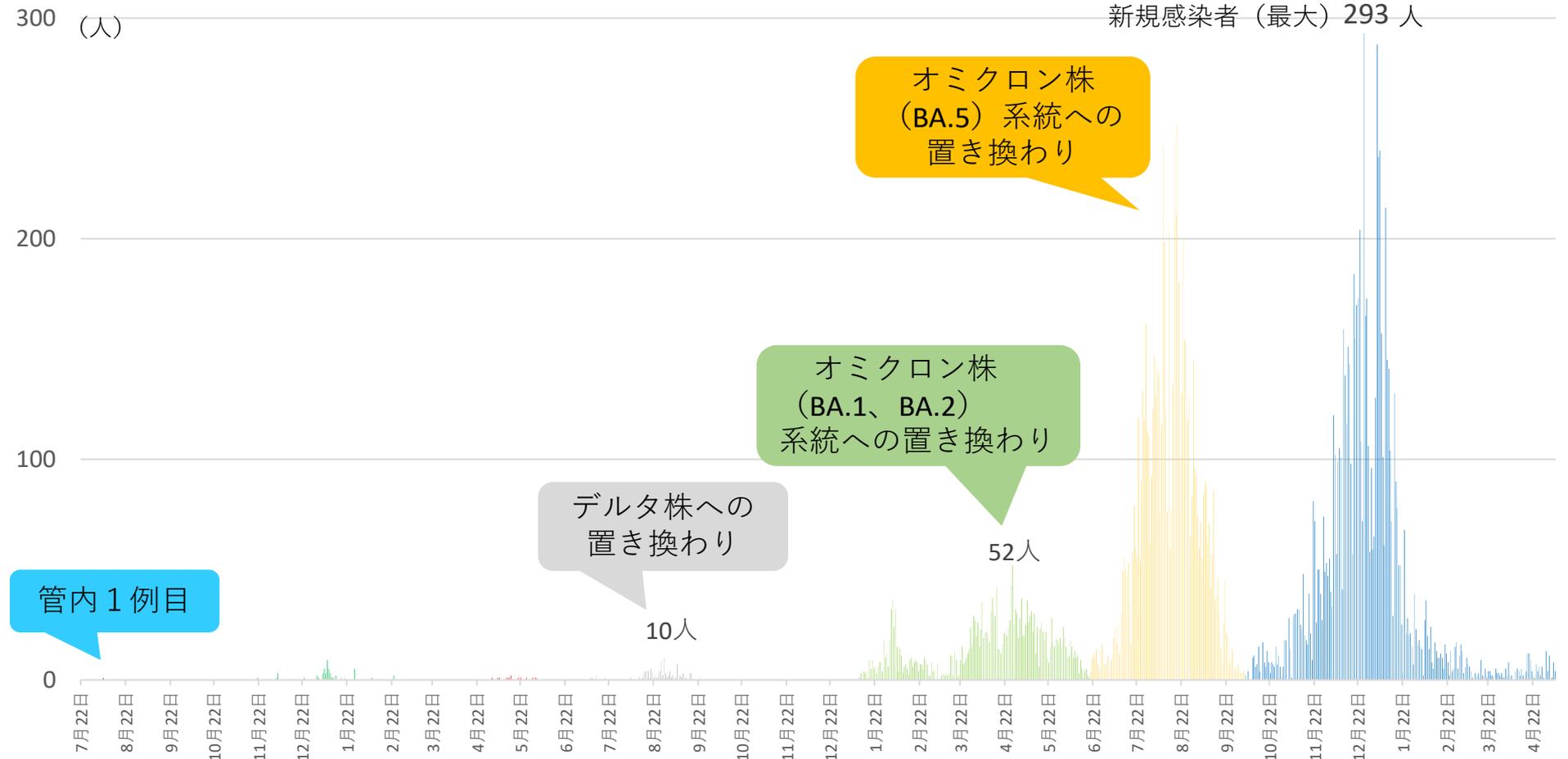
デルタ株への置き換わり

52人

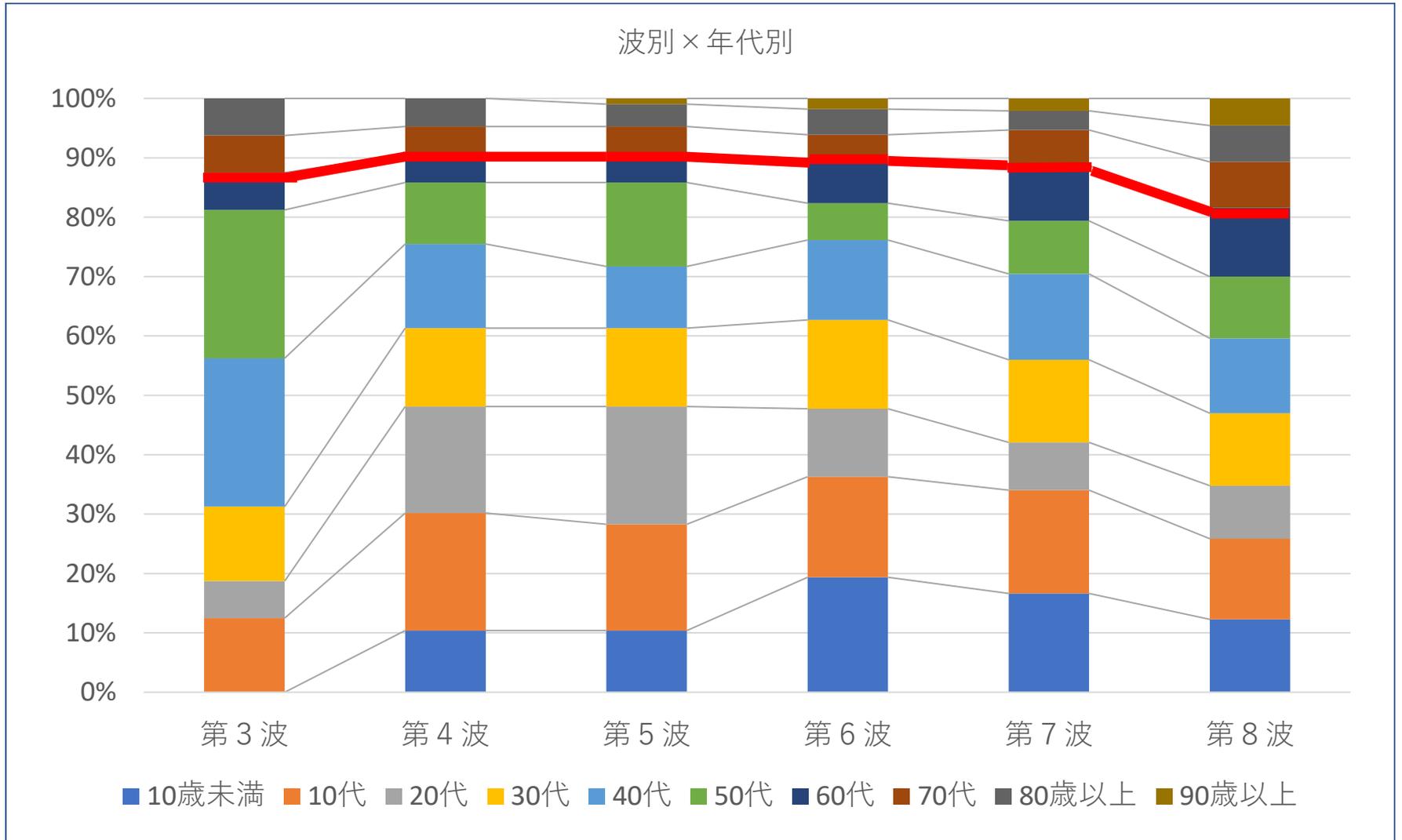
10人

管内 1 例目

総感染者数：17,984人



管内の感染者の波別・年代別割合 (第3波以降)



小林保健所管内の感染状況の概要

	第2波	第3波	第4波	第5波	第6波	第7波	第8波
日数※ (期間)	55日 (R2.7.22～R2.9.14)	113日 (R2.11.15～R3.3.7)	86日 (R3.3.27～R3.6.20)	112日 (R3.6.21～10.10)	169日 (R4.1.2～6.19)	107日 (R4.6.20～10.4)	149日 (R4.10.5～R5.3.2)
総感染者数	1	41	15	90	2,240	7,245	7,869
1日当たり新規 感染者数(最大)	1	9	2	10	52	249	293
入院者数※※ (入院率)	1 (100%)	12 (29.3%)	9 (60%)	39 (43.3%)	71 (3.2%)	202 (2.8%)	350 (4.4%)
重症者数※※※ (重症率)	0	2 (4.9%)	4 (26.7%)	7 (7.8%)	3 (0.1%)	13 (0.2%)	41 (0.5%)
死者数※※ (致死率)	0	0	0	0	3 (0.1%)	4 (0.1%)	37 (0.5%)

※期間は、現時点で県の設定している期間で表示。今後の感染状況や国の方針等により変更する可能性あり。

※※入院者数等はHER-SYS入力情報より抽出。医療機関等の入力漏れがある可能性に留意が必要。

※※※重症者数はHER-SYS入力情報及び保健所作成のラインリストより抽出。陽性判明後の症状悪化等については反映されていない可能性に留意が必要。

令和5年5月8日から「5類感染症」へ移行

新型インフルエンザ等感染症（2類相当）と5類感染症の主な違い

新型インフルエンザ等感染症

発生動向

- ・法律に基づく届出等から、患者数や死亡者数の総数を毎日把握・公表
- ・医療提供の状況は自治体報告で把握

医療体制

- ・入院措置等、行政の強い関与
- ・限られた医療機関による特別な対応

患者対応

- ・法律に基づく行政による患者の入院措置・勧告や外出自粛（自宅待機）要請
- ・入院・外来医療費の自己負担分を公費支援

感染対策

- ・法律に基づき行政が様々な要請・関与をしていく仕組み
- ・基本的対処方針や業種別ガイドラインによる感染対策

ワクチン

- ・予防接種法に基づき、特例臨時接種として自己負担なく接種

5類感染症

- ・定点医療機関からの報告に基づき、毎週月曜日から日曜日までの患者数を公表
- ・様々な手法を組み合わせた重層的なサーベイランス（抗体保有率調査、下水サーベイランス研究等）

- ・幅広い医療機関による自律的な通常の対応
- ・新たな医療機関に参画を促す

- ・政府として一律に外出自粛要請はせず
- ・医療費の1割～3割を自己負担
入院医療費や治療薬の費用を期限を区切り軽減

- ・国民の皆様の主体的な選択を尊重し、個人や事業者の判断に委ねる
- ・基本的対処方針等は廃止。行政は個人や事業者の判断に資する情報提供を実施

- ・令和5年度においても、引き続き、自己負担なく接種

- 高齢者など重症化リスクが高い方等：年2回（5月～、9月～）
- 5歳以上のすべての方：年1回（9月～）

新型コロナ：全国の感染状況

区分	黄	オレンジ	赤	紫
定点当たりの報告数	5	10	20	50



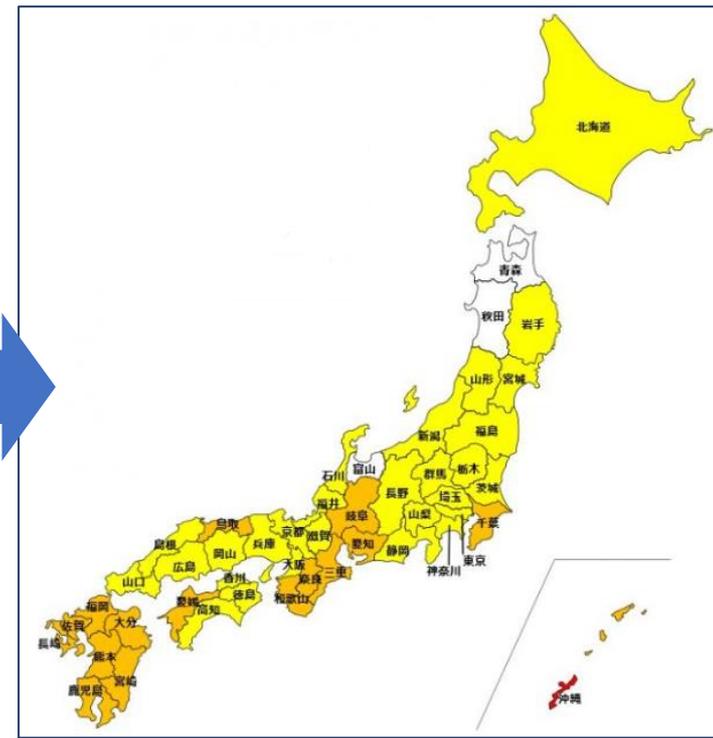
5/29~6/4

全国の定点当たりの報告数：4.55



6/26~7/2

全国の定点当たりの報告数：7.24



7/3~7/9

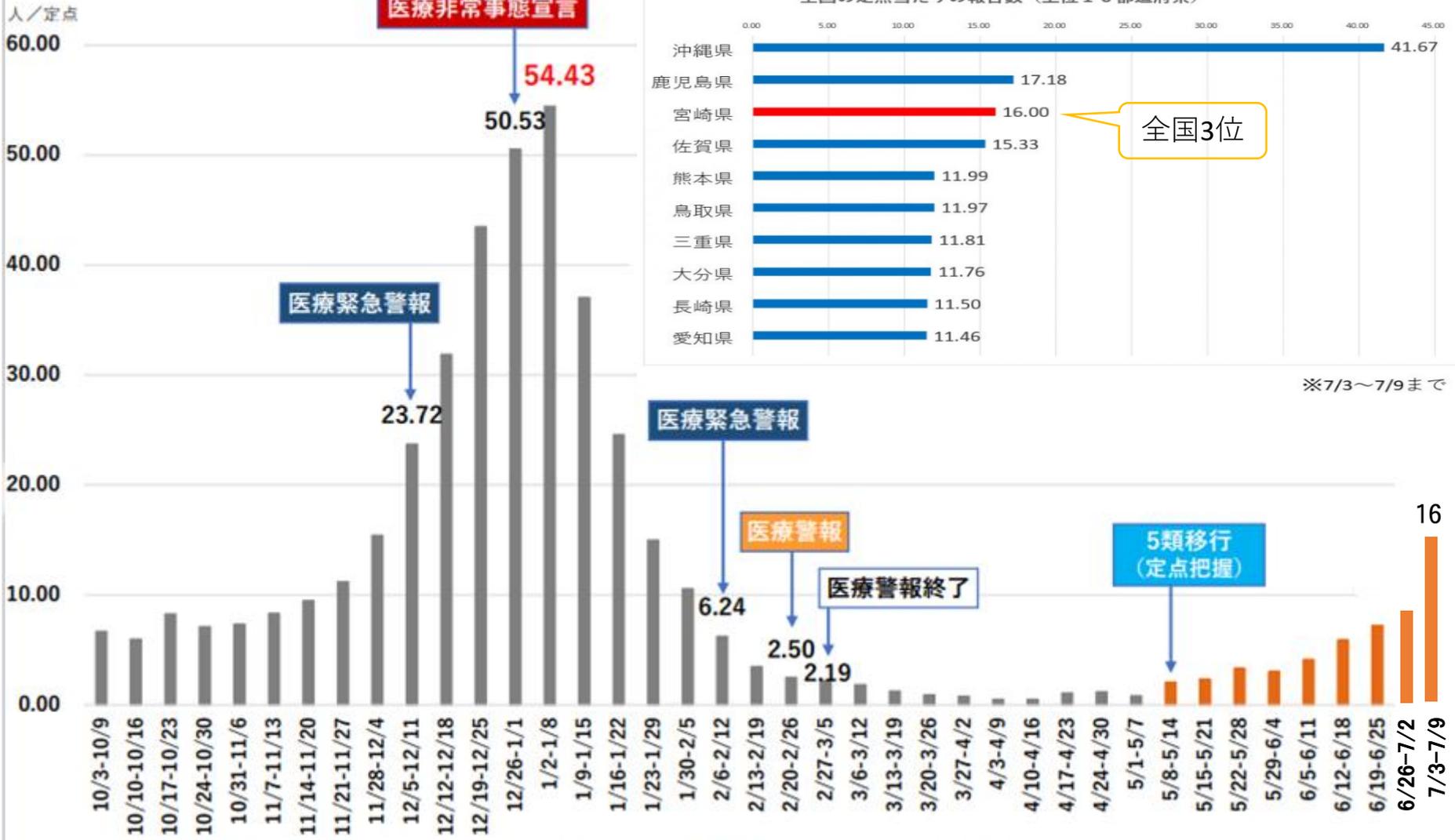
全国の定点当たりの報告数：9.14

全国的に増加傾向！

出典：宮崎県新型コロナウイルス感染症対策特設サイト

新型コロナ：定点当たりの報告数

第8波 (R4.10.5~R5.3.2)

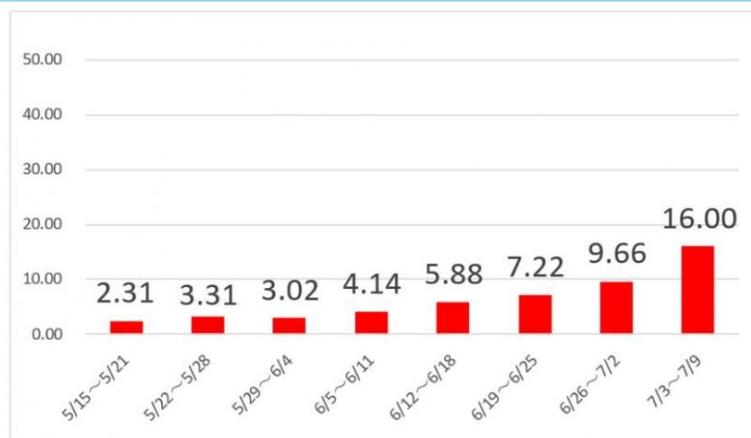


※ 定点医療機関からの報告数÷58定点医療機関。5類移行前(定点把握前)の数値は参考値

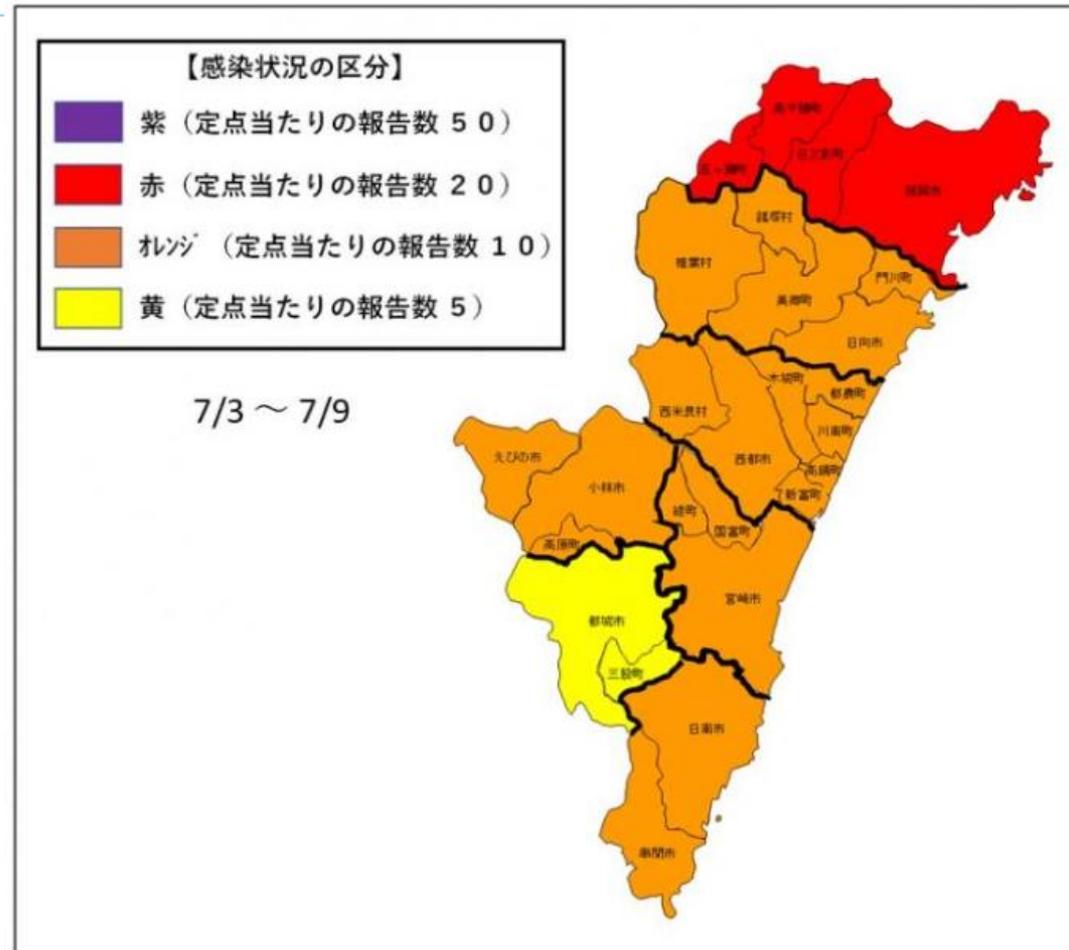
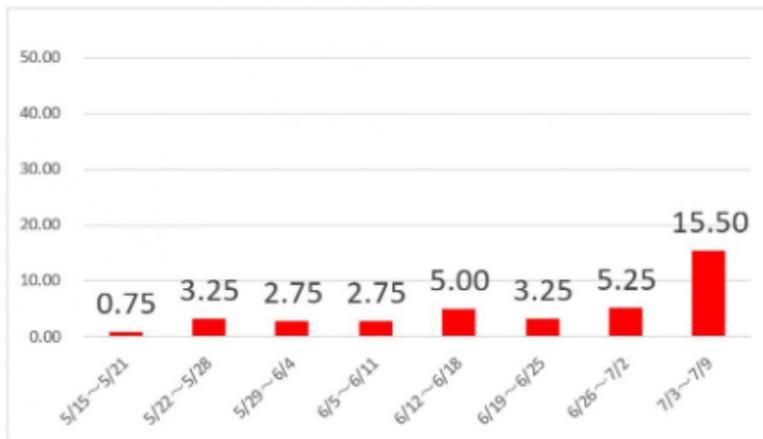
5類感染症移行後の感染状況の概要（R5.7.6時点）

定点当たりの報告数（定点医療機関からの報告数÷定点医療機関数）

県全体（定点医療機関数：58）

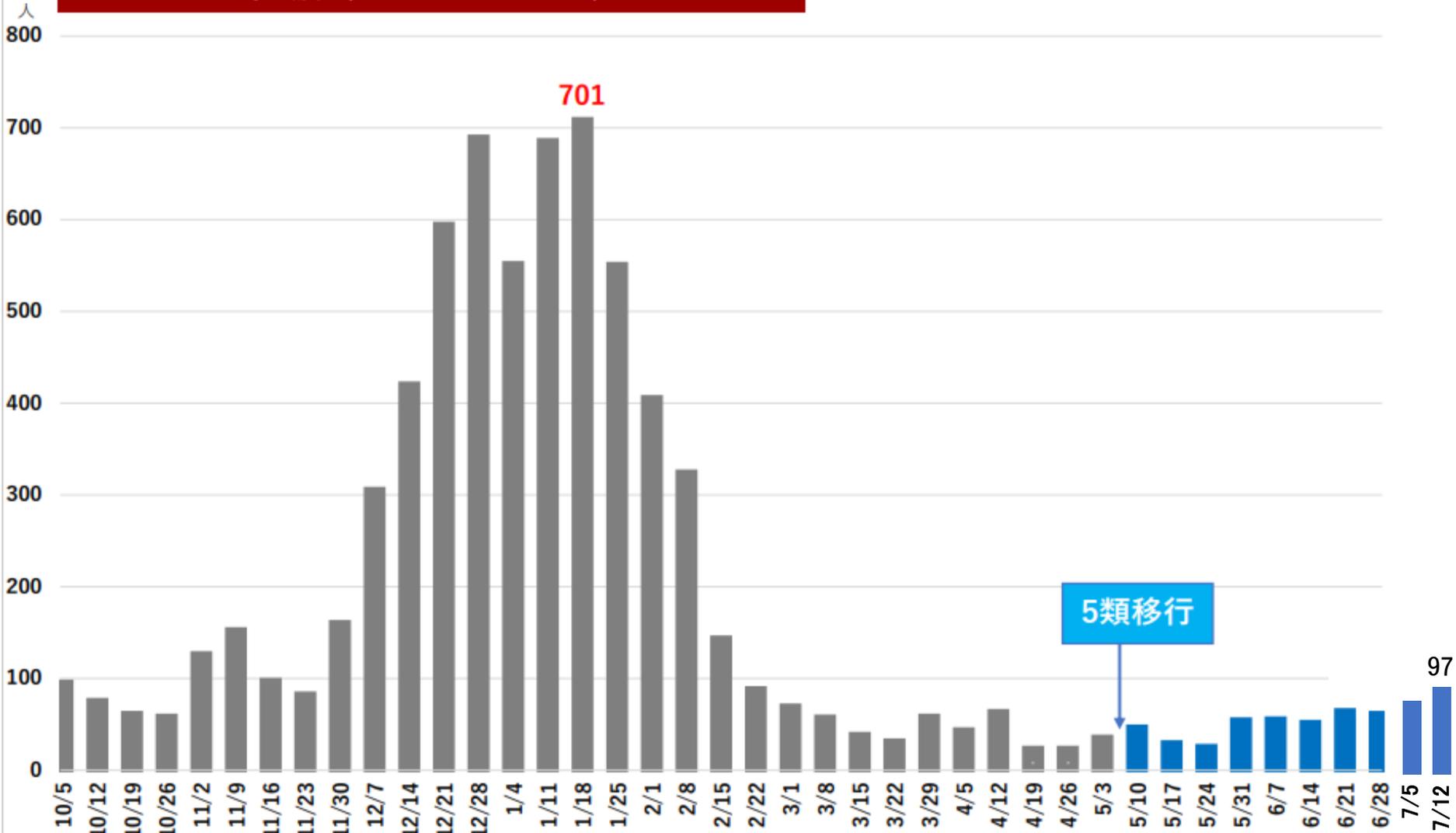


小林・えびの・西諸県圏域（定点医療機関数：4）



新型コロナ：入院患者数

第8波 (R4.10.5~R5.3.2)



※ 毎週水曜日時点の県内の医療機関からの報告数

出典：宮崎県新型コロナウイルス感染症対策特設サイト

県内におけるオミクロン株「XBB」系統の状況

■ゲノム解析結果

解析日	解析検体数	BA.2系統	BA.5系統	XBB系統	XBB系統の割合	備考
6月2日	25	0	3	21	84.0%	5月17日～5月25日検体採取分
6月9日	29	3	3	23	79.3%	5月24日～5月31日検体採取分
6月16日	29	2	1	26	89.7%	5月31日～6月8日検体採取分
6月23日	39	1	1	37	94.9%	6月5日～6月15日検体採取分

県内でも、免疫逃避が起こる可能性のある「XBB」系統に置き換わっている状況！

新型コロナ：県の対応

必要な医療提供体制の確保

○重症及び重症化のおそれがある患者用の病床

確保病床数	184床
-------	------

○外来対応医療機関の拡充

	4月11日時点	6月26日時点
①外来対応を行う医療機関のうち、 内科・耳鼻科・小児科標榜の医療機関	422	467
②うち、 かかりつけ患者に限らず、広く外来対応を行うことを公表する医療機関 (②÷①)	179 (42%)	406 (87%)

より身近な医療機関での受診が可能に！

○高齢者施設等への対応

- ・職員を対象とした頻回検査の実施（集中的検査）
※ 県全体の定点当たりの報告数が10以上（オレンジ）から開始
- ・事業継続支援（かかり増し経費への支援）
- ・往診体制の強化（往診を行う医療機関への支援）

その他

○ワクチン接種

高齢者等の重症化リスクの高い者（努力義務）への接種勧奨

○夏休み前の注意喚起（7月中旬～8月中旬）

ラジオCM、SNS広告、新聞広告等による広報

小林保健所における今後の取組

○これまでの経験を活かし、次なる波に備えた感染拡大防止の強化

- 高齢者施設等への予防的介入
- 感染動向把握及び感染症週報の活用
- 個人や事業所が自主的判断ができるよう、
- 効果的な感染対策の情報提供

小林保健所管内の高齢者入所施設における 感染対策に関するアンケート調査

- ・ 調査期間

令和5年6月9日（金）から令和5年6月23日（金）

- ・ 方法

宮崎県電子申請システムを使用

- ・ 対象

管内高齢者入所施設 85施設

内訳：介護老人保健施設5施設	特別養護老人ホーム11施設
養護老人ホーム3施設	有料老人ホーム29施設
グループホーム27施設	ケアハウス1施設
小規模多機能ホーム4施設	短期入所4施設
サービス付き高齢者向け住宅1施設	

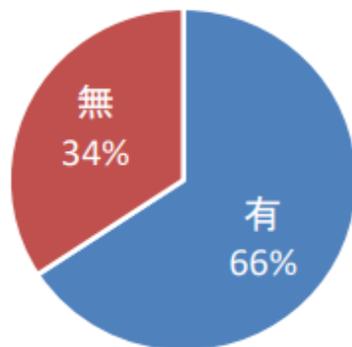
高齢者入所施設における感染対策に関するアンケート調査結果

1 回答した施設数及び回答率

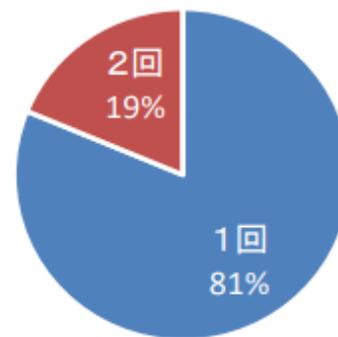
	施設数	回答数	回答率 (%)
介護老人保健施設	5	5	100
特別養護老人ホーム	11	11	100
養護老人ホーム	3	3	100
有料老人ホーム	29	24	82.8
グループホーム	27	21	77.8
その他	10	9	90.0
計	85	73	85.9

2 新型コロナウイルス感染症の対応経験について

対応の経験 (N=73)

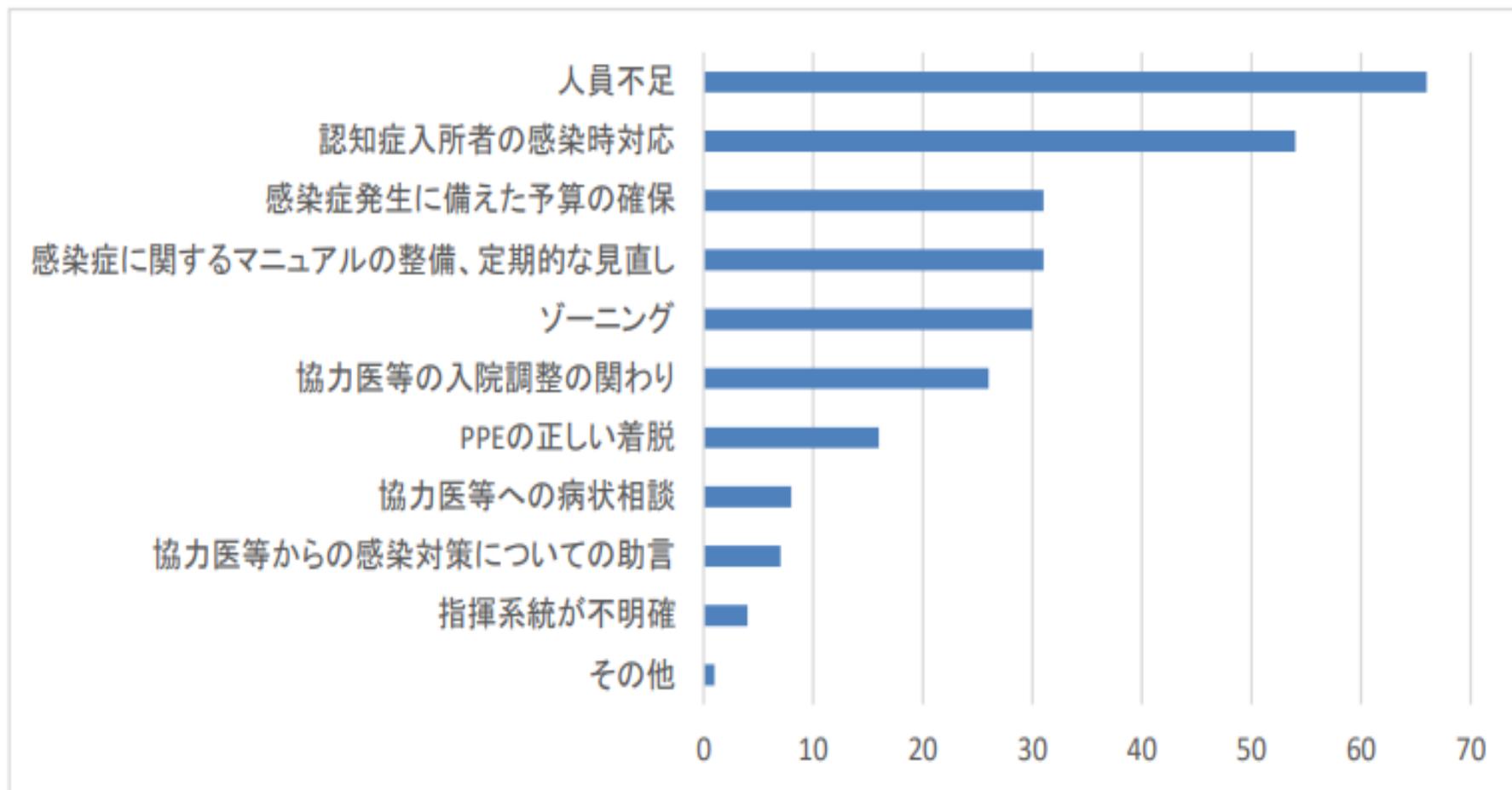


対応経験の回数 (N=48)



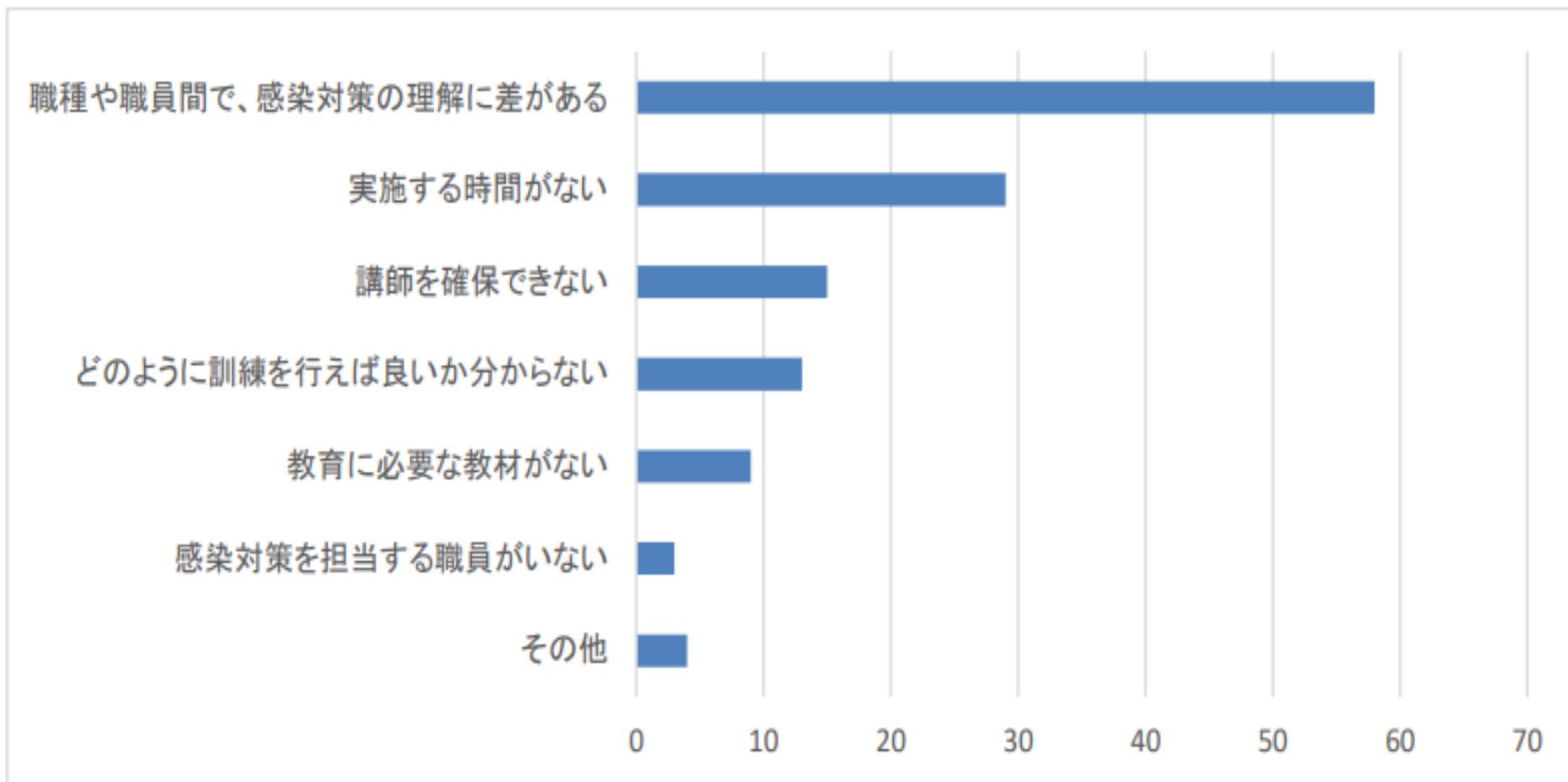
高齢者入所施設における感染対策に関するアンケート調査結果

感染対策に関する課題や不安について(複数回答可)



高齢者入所施設における感染対策に関するアンケート調査結果

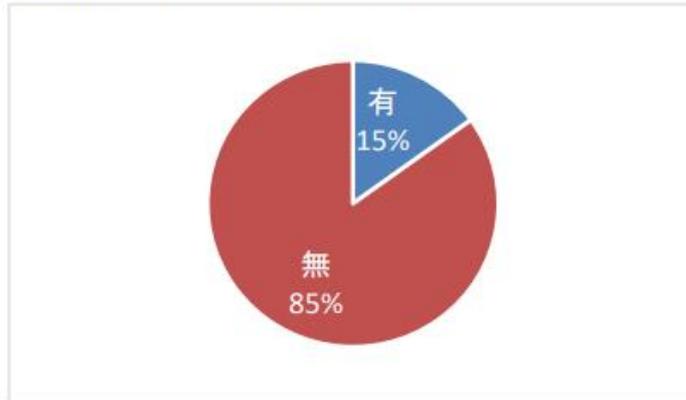
施設内の研修や訓練で課題と感じている点について(複数回答可)



高齢者入所施設における感染対策に関するアンケート調査結果

6 CNIC (感染管理認定看護師) の支援について

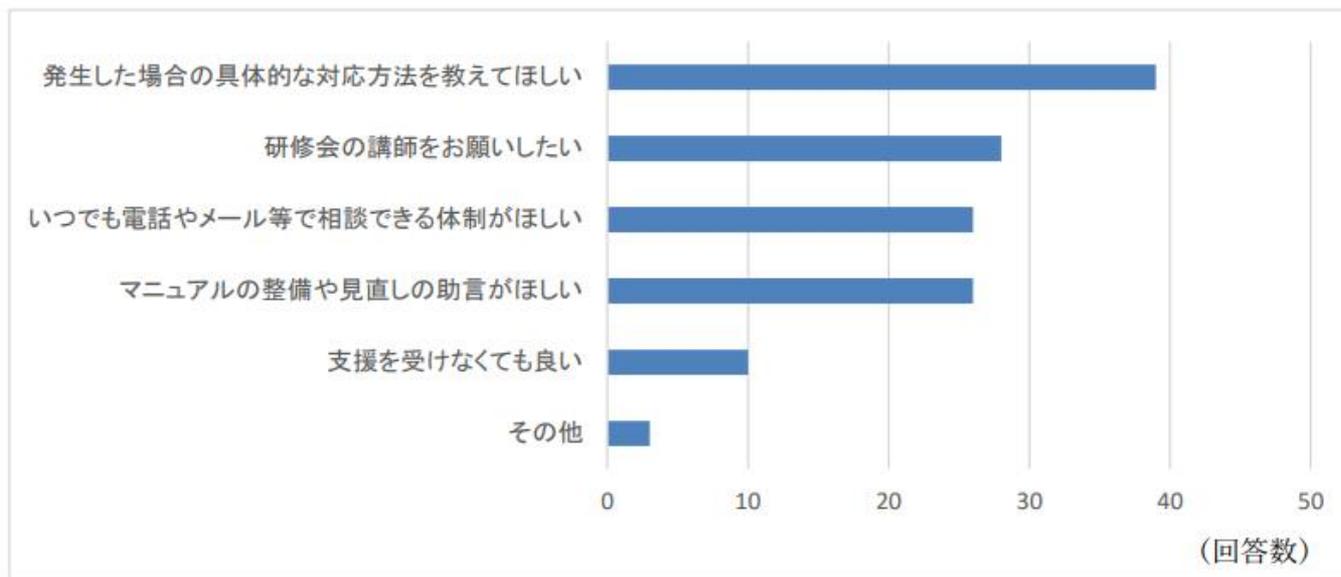
(1) 訪問による支援の経験 (N=73)



【今後の予定】

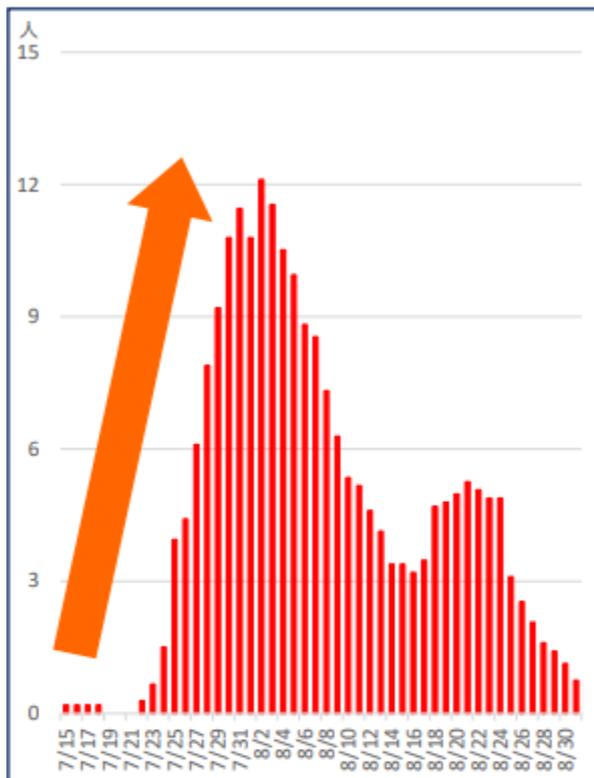
- 管内医療機関CNICの協力の元、指導を希望する施設に対し、施設を訪問し、感染対策の助言を行う。
- 高齢者等入所施設職員に対する感染症研修会を実施予定。

(2) CNIC よりどのような支援を受けたいと考えるか。(複数回答可)

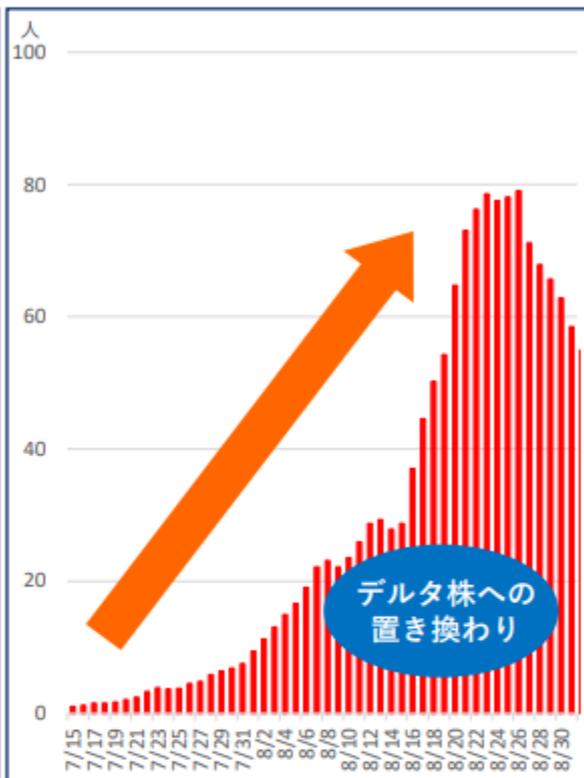


過去3年間の人口10万人当たりの感染者数の推移（7～8月）

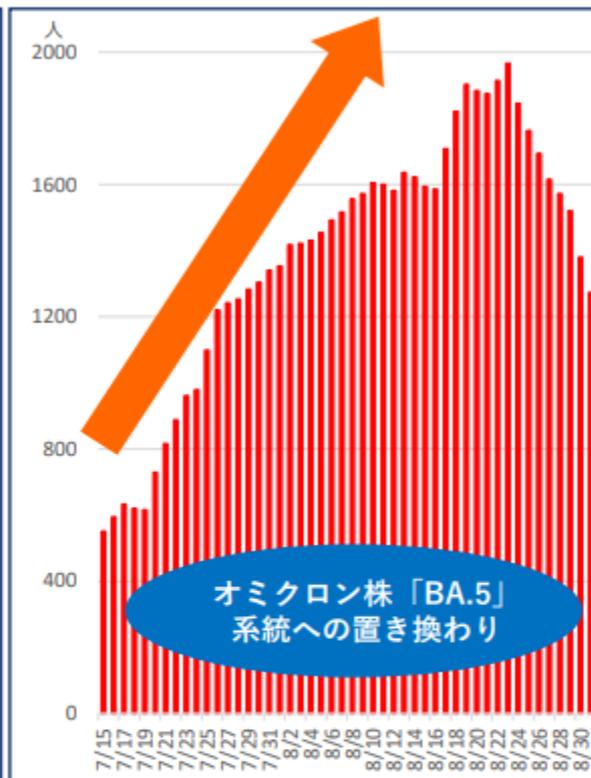
3年前（第2波）



2年前（第5波）



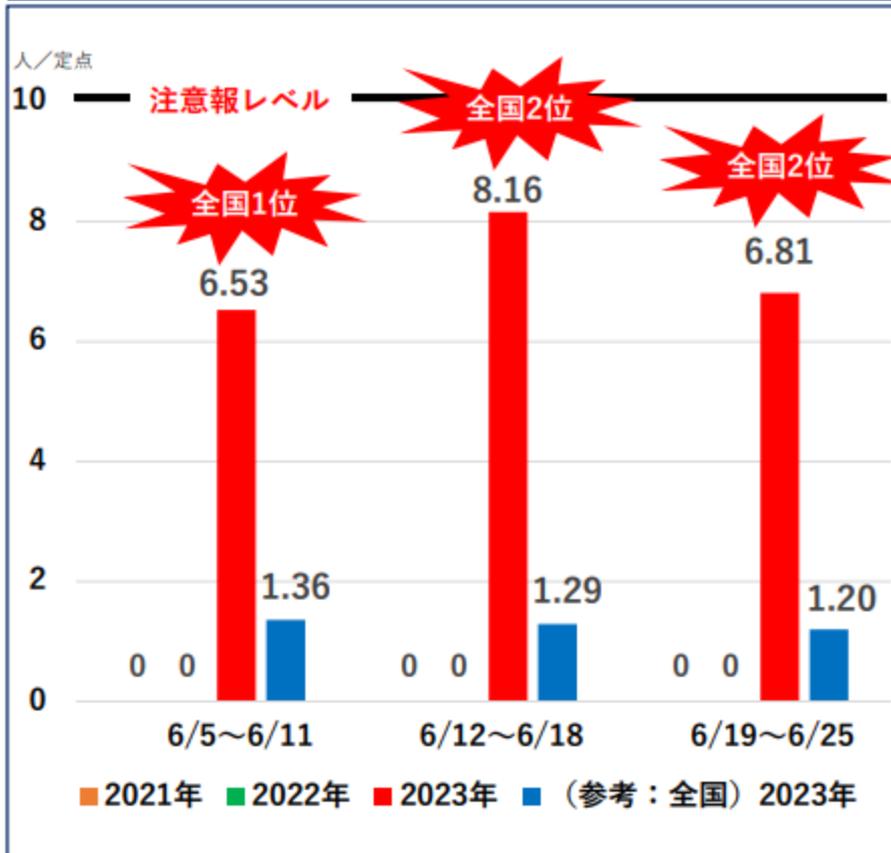
1年前（第7波）



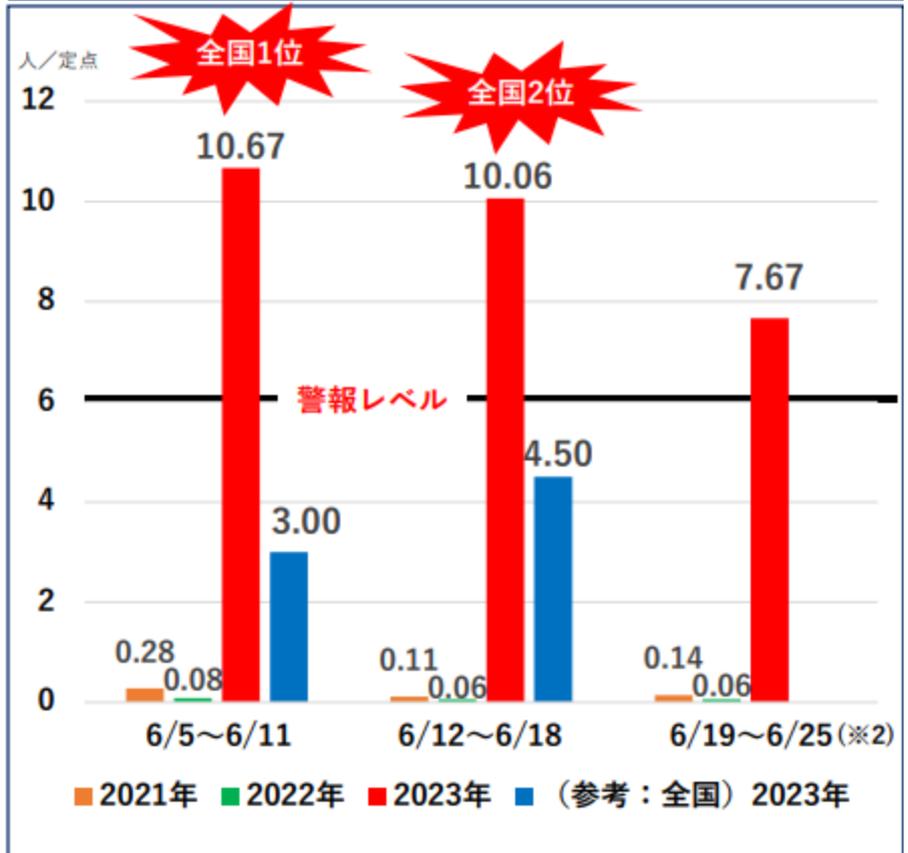
**過去3年間とも
7月の連休や夏休みの時期に感染が急拡大！**

新型コロナ以外：子どもの感染症の感染状況

インフルエンザの定点当たりの報告数



ヘルパンギーナ(※1)の定点当たりの報告数



※1 5月頃から夏季にかけて、乳幼児を中心に流行する急性のウイルス性咽頭炎で、いわゆる「夏かぜ」の代表的疾患

※2 全国の報告数は、本日、国立感染症研究所において発表

「子どもの感染症」も増加！

感染リスクに応じた対策の実践を！

その場に応じたマスクの着用や咳エチケットの実施

～不織布マスクの着用は、感染防止対策として引き続き有効です～

熱中症に気をつけながら、周囲の混雑状況など、その場の感染リスクに応じてマスク着脱の判断をお願いします。
また、重症化リスクの高い方への感染を防ぐため、受診時や医療機関・高齢者施設などを訪問する時と、通勤ラッシュ時など混雑した電車・バスに乗車する時には、マスクを着用しましょう。



換気、「三つの密（密集・密接・密閉）」の回避

特に不特定多数の人がいるところでは、換気や人との間隔を空けることが、感染防止対策として有効です。



手洗いは日常の生活習慣に

食事前、トイレの後、家に帰った時などには、まず手を洗うよう心がけましょう。（適切な手指消毒薬の使用も可）



発熱などの体調不良時への備え

事前にコロナ抗原検査キットや解熱剤などの常備薬を準備しておく心安心です。



5類移行後の感染対策は、個人や事業者の自主的な判断に委ねられています

発熱などの症状が出たら…

●受診する際の注意点

かかりつけ医やお近くの医療機関に事前に連絡し、
不織布マスクを着用するなどの、感染防止対策を徹底した上で受診してください。

※なお、症状が軽いなど、医療機関を受診する必要が無い場合には、国が承認した抗原検査キット等を活用してください



受診する医療機関に迷う場合や、新型コロナ療養中に体調が急変した際には…

宮崎県新型コロナウイルス感染症相談窓口 ☎0985-78-5670 (24時間対応)

●新型コロナに感染された方

0日目 (発症日※1)	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目
----------------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------

発症後 **5日** を経過し、かつ、
症状軽快から **24時間** 経過するまでの間は、
外出を控えることを推奨 (※2)

10日間 が経過するまでは、
マスク着用 や
重症化リスクの高い方との接触を控える
ことを推奨

(※1) 無症状の場合は検体採取日を0日目とします。

(※2) やむを得ず外出する場合は、症状がないことを確認し、マスク着用等を徹底してください。

5類移行後は、一般に保健所から新型コロナ患者の「濃厚接触者」として特定されることはありません。
また、「濃厚接触者」として法律に基づく外出自粛は求められません。



令和5年度も「自己負担なし」で 新型コロナワクチンを接種できます

時期によって接種対象者が異なりますのでご注意ください。

5月8日から8月までの対象者

初回接種（1・2回目接種）を終了した以下の方

- ・高齢者（65歳以上）
- ・基礎疾患を有する方（5歳～64歳）
- ・医療従事者・介護従事者等



※初回接種（1・2回目接種）を終了した5歳～11歳で、
オミクロン株対応ワクチン未接種の方は、8月までは接種可能です。

9月以降の対象者

初回接種（1・2回目接種）を終了した5歳以上の全ての方

※前回接種から3か月以上経過していることが必要です。

※初回接種は令和5年度も引き続き実施されます。



5類感染症移行後も、

その場の感染リスクに応じた

適切な感染防止対策を実践していきましょう

